

内覧会で新校舎公開

沼津・静浦
小中一貫学校

沼津市教育委員会は、22日、4月に同市静浦地区に開校する「静浦小中一貫学校」新校舎の内覧会を、新入生の保護者や近隣住民を対象に開いた。

施設一体型の小中一貫校は新築の公立校として、県内初。保護者

らは市教委担当者の説明に工事完了した4階建て校舎内を巡った。



新校舎を見学する参加者
＝沼津市立静浦小中一貫学校

各教室をはじめ、児童・生徒の交流スペースとして広く設計された廊下、各階に設けられた図書コーナーなどを回った。調理の様子を見学できるガラス張りの給食室、壁にはめ込まれた近海の生き物を飼育する水槽にも興味を示した。

保護者と一緒に訪れる子どもの姿も目立った。4月に入学する小池晶士ちゃん(6)は「学校の中に水槽があつて驚いた。広い教室や廊下で勉強するのが楽しみ」と期待に胸を膨らませた。

静岡新聞

2月23日記事→

沼津朝日新聞

2月23日記事↓

静浦小中一貫校で内覧会

地区住民、保護者ら対象に

四月開校の静浦小中一貫学校で二十二日、内覧会が開かれた。地元の住民や静浦小、静浦中の児童生徒の保護者などを対象にしたもので、三月六日は児童生徒を対象に行われる。

静浦地区は、少子化に伴う児童数の減少により小学校の複式学級化が避

北澤建具工芸

箱物・小物
組子・ミニ衝立
絵手紙・色紙
写真立て
沼津市三浦町10-9
TEL・FAX 931-4736

けられない見通しとなったことから、静浦、静浦西、静浦東の三小学校を統合することとして、二十二年四月、三校の静浦小への統廃合が実施され



教室(左側)と同じ幅の廊下が広がり、突き当たりの窓からは海が見える小中一貫校＝内覧会の様子

月、静浦小に統合されて空いた西小跡への移転が行われた。

こうした課題の解決と同時に、施設一体型の小中一貫校の開設計画されたもので、昨年十二月に校舎が完成し、現在、外構工事が進められている。

内覧会に参加した、いづれ子どもが入校するという母親は「明るくて開放感があり、木の香りと、温かさを感じられていいと思う」と感想を述べた。

校舎は鉄筋コンクリート四階建てで、津波を受けた場合を考え、圧力を軽減させるため純ラメ

ン構造を採用。内装には至る個所に木材を使っている。三階層にわたる学校図書館、普通教室前には広い交流スペース(廊下部分)、さらに約百人を収容できるランチルームを設け、屋上には防災

倉庫を設置。また、高台への避難経路を確保した。

焼とりトヤト

末広町 0964-44646

小中一貫校の先進例では六・三制をとっているのに対して、静浦の一貫校は四・三・二制を採用。学級数は普通学級十一、特別支援学級二、開校時の児童生徒数は約三

百人。